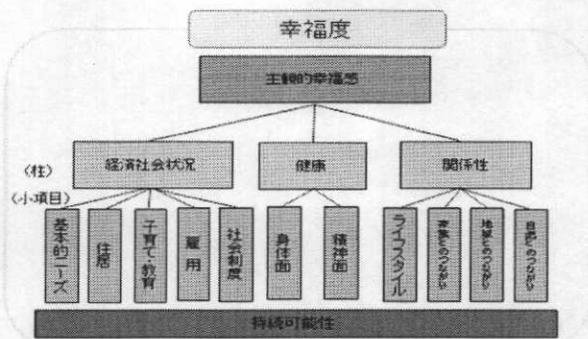


## 指標の骨子検討(1/2)

内閣府が検討・公表した幸福度指標案をベースに総合戦略におけるKPIを検討する

内閣府が検討している幸福度指標

- 平成23年12月5日に内閣府「幸福度に関する研究会」がこれまでの内外における学術研究の成果に基づいて、指標の選別を行い、幸福度指標試案を発表
- 今回の小樽市における複合指標のフレームとして当該成果を活用
- 幸福度を構成する要素は包含するよう留意しつつも、指標の位置づけは今回の総合戦略に合わせて柔軟に変更（一部、総合戦略における施策による影響がないと判断される項目については、対象から除外する）



出所：内閣府「幸福度に関する研究会」

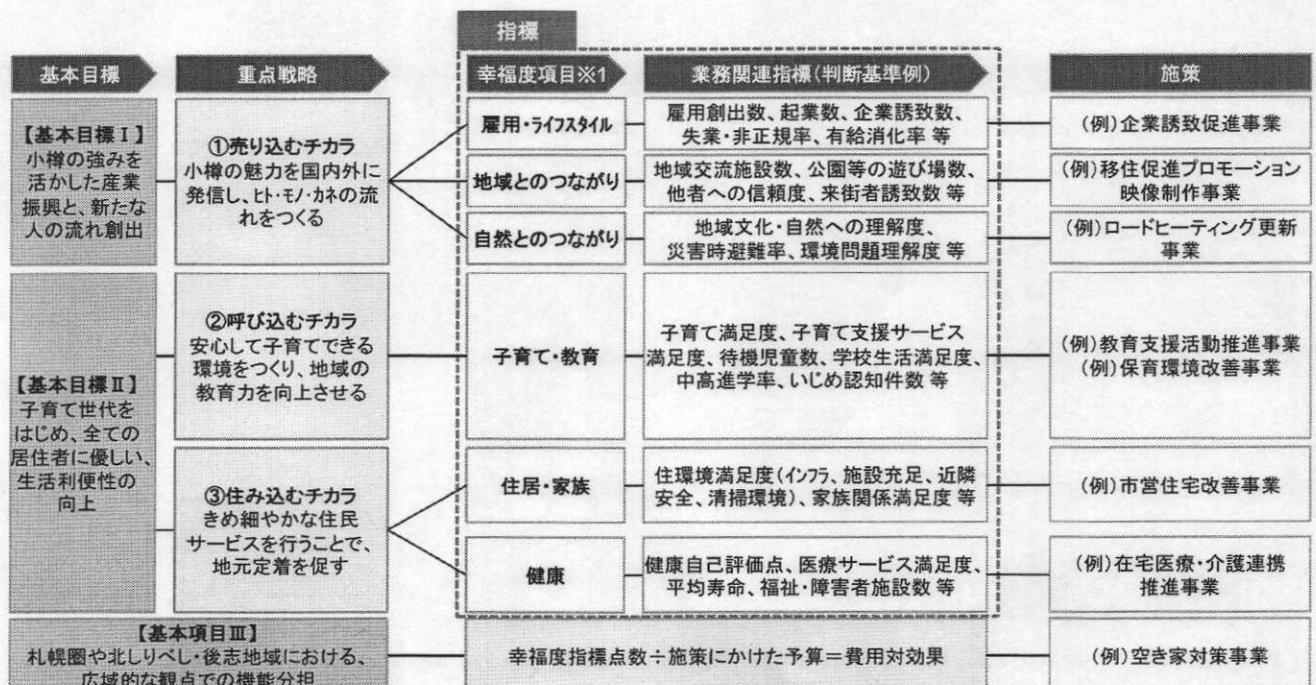
2 KPI(重要業績評価指標)の考え方

柱	項目	指標例
経済社会状況	基本的ニーズ	✓ 相対的貧困率、物質的剥奪率、家計が赤字の世帯割合等
	住居	✓ ホームレス数、劣悪な住居環境、住宅への満足度等
	子育て・教育	✓ 学校生活満足度、子育て満足度、育児休業取得率等
	雇用	✓ 望まない非正規雇用率、若年失業率、起業率、求人倍率等
	社会制度	✓ 年金、健康保険未加入率、治安認知、投票率等
健康	身体面	✓ 乳児・幼児死亡率、子どもの疾患率、寝たきり高齢者数等、
	精神面	✓ 自殺死亡者数、認知症患者数、うつ病患者数等
	身体・精神面共通	✓ 医療サービス満足度、平均余命(健康余命)
関係性	ライフスタイル	✓ 自由時間、有給休暇取得率等
	家族とのつながり	✓ 単身世帯数、困ったときに助けてくれる者等
	地域とのつながり	✓ 現在の居住地に住み続けたいと思う者、ひきこもり数等
	自然とのつながり	✓ 自然への畏敬、地域の伝承の認知等
持続可能性		✓ 大気汚染に係る環境基準や地下水の環境基準達成率等

## 指標の骨子検討(2/2)

幸福度指標の項目を再構成することで基本目標・重点戦略も評価することができる

基本目標・重点戦略と指標の関連図



※1削除項目：「基本ニーズ」、「社会制度」、「持続可能性」 統合項目：「身体的」「精神面」「身体・精神面共通」⇒「健康」へ、「ライフスタイル」⇒「雇用」へ、「家族とのつながり」⇒「住居」

3 KPI(重要業績評価指標)の考え方